

南武

# タイ工場拡張移転

## シリンドラ生産倍増

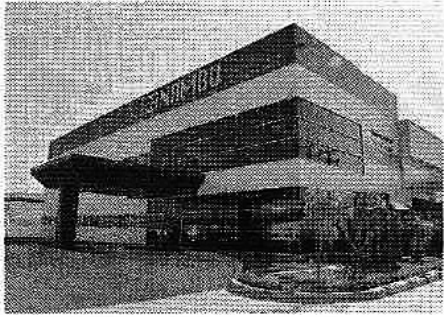
金型用中子抜きシリンドラの南武（東京都大田区、03・3742・7377）はタイに新工場を建設し、業務を開始した。投資額は約2・5億円で、生産能力を既存のタイ工場に比べ、約2倍に引き上げる。また、メッキを一部内製化するなど、生産アップと共に品質の高度化も進める。

新工場は旧工場と同じアマタナコン工業団地で、工場敷地面積は2500平方m。約60人体制で操業を行う。従来同様、タイ国内はもちろ

ん、ASEAN、インド向けに油圧シリンドラや部品を製造する。また、今回の新工場稼働に合わせ、主要工程でもあるメッキを一部内製化。「生産能力アップと共に品質向上も図る」（野村伯英副社長）としている。

同社は2002年にタイに進出。06年には、大田区とアマタナコン工業

団地が運営する「オオタテクノパーク」に一番目の企業として入居した。今回の工場移転で「オオタテクノパーク」では、初の「卒業生」となった。同社は昨年中国の常州に進出するなど、海外展開を積極的に進めている。



新工場は旧工場と同じアマタナコン工業団地で、工場敷地面積は2500平方m。約60人体制